

[2018年5月11日]

Bangladesh でダッカ大量輸送開発PJを受注

ダッカ都市高速鉄道6号線 橋梁及び高架駅建設工事 (CP-5)

■ 鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、アブドゥル・モネム・リミテッド社（現地企業、社長：アブドゥル・モネム）と株式会社安部日鋼工業（本社：岐阜県岐阜市、社長：井手口哲朗）と共同企業体（JV）を構成し、Bangladesh 人民共和国（以下、Bangladesh シュ）ダッカ都市交通公社発注のダッカ都市交通整備事業 MRT (Mass Rapid Transit) 6号線 CP5 工区を受注しました。



高架橋完成イメージ（提供：ダッカ都市交通公社）



高架駅舎完成イメージ（提供：ダッカ都市交通公社）

■ Bangladesh シュの首都ダッカの人口は経済成長を背景に、1990年から2014年にかけて人口が662万人から1,698万人まで増加し、急激な交通需要の増大が慢性的な渋滞や大気汚染等を引き起こし、投資環境や社会経済発展の大きなボトルネックとなっています。このような状況のなか日本の政府開発援助（ODA）を活用し、これらの改善を目的にダッカ都市交通整備事業が計画されています。このうちMRT6号線は、ダッカを南北に縦断するように建設され、総延長約20kmのほとんどが高架橋であり、16の高架駅が建設されます。完成すると16駅を38分で結ぶとされ、毎時6万人の利用が見込まれています。CP5工区は高架駅3駅を含む全長約3.2kmの工区であり、6号線内で最も交通量が多い区間となっています。

■ 2018年4月30日、ダッカ市内のホテルにてCP6工区とともに契約調印式が行われました。調印式にはBangladesh シュ道路交通橋梁省オバイデル・カデル大臣、ダッカ都市交通公社のシディック社長、在Bangladesh シュ日本大使館の伊藤毅公使、JICA Bangladesh シュ事務所の西片高俊所長が参列され、JVを代表して、当社の海外事業推進室西村剛担当部長が菊地真専務執行役員立会いのもと署名を行いました。



写真：調印式の様子

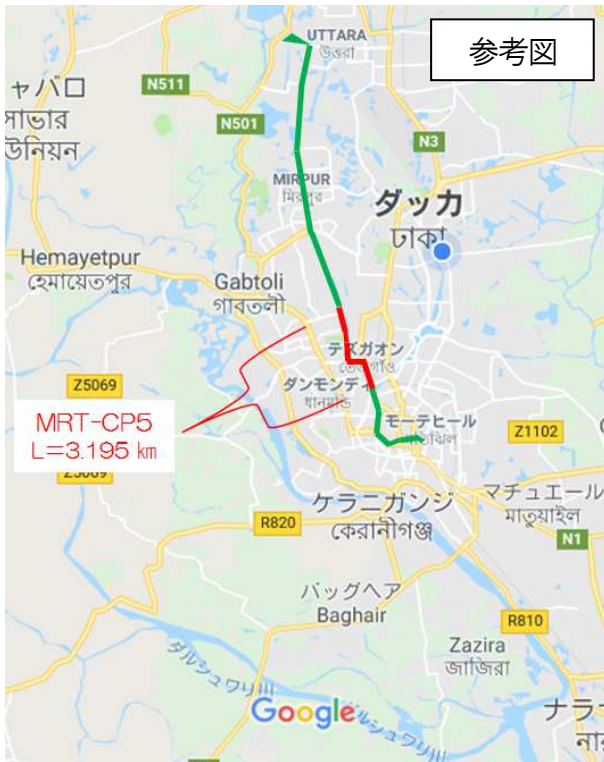
最前列：左側 ダッカ都市交通公社シディック社長
右側 当社西村剛担当部長
壇上：左から5人目 道路交通橋梁省カデル大臣
右から2人目 日本大使館伊藤毅公使

■本工事は Bangladesh における当社初の工事受注となっています。引き続き幹線道路網整備など社会インフラ整備事業プロジェクトに参画すべく安定した営業体制を築くとともに、Bangladesh 経済全体の活性化に貢献してまいります。

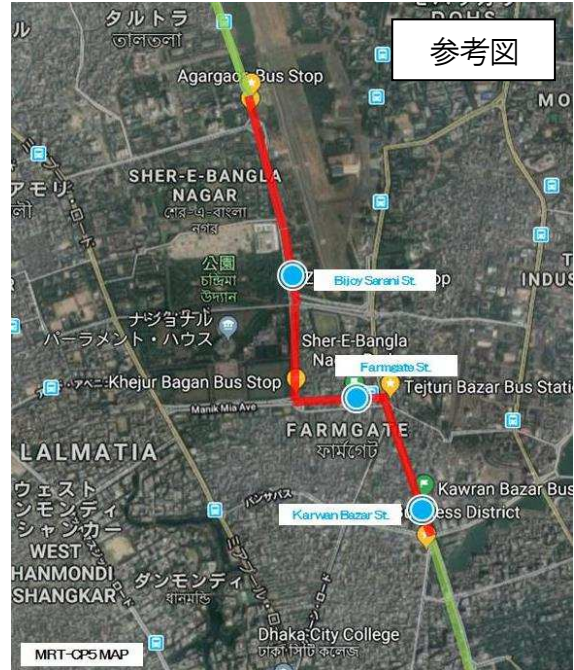
■MRT6 号線 橋梁及び高架駅建設工事 (CP-5) 工事概要

- ① 工事名称：ダッカ都市交通整備事業 MRT6 号線 CP5 工区
- ② 発注者：ダッカ都市交通公社
- ③ 設計監理：日本工営、NK India、DMRC、MOTT UK、MOTT India、DDC 共同企業体
- ④ 工期：42 ヶ月
- ⑤ 工事内容：高架軌道延長約 3.2km、高架駅舎 3 駅
- ⑥ 請負金額：220 億 (JV 総額)
- ⑦ 施工会社：鉄建建設、アブドゥル・モネム・リミテッド社、安部日鋼工業 共同企業体

【参考：位置図】



MRT 6 号線 位置図



パッケージ5 工区 位置図 (赤線部分)

以上

お問い合わせ先

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町 2-5-3

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部 高橋